

課題

『アジアにおける循環型未来都市を求めて』

課題内容:

2005年6月に開催されたIFYA NAGOYA 2005では、世界各国から集まった若手建築家約50名が、①名古屋市都心界隈地区、②名古屋港ウォーターフロント地区、③中部国際空港周辺地区、の課題地を対象に、それぞれの30年後の循環型未来都市を提案し、図面と模型で表現しました。その成果は、美術出版社から、「循環型未来都市—サステナブルシティ」菊竹清訓編集として出版されています。そこで、本年の第3課題では、都市計画の課題のひとつとして、名古屋市内の4つの地区の現在から30年後までを計画することとします。行政と民間と地元の三者がどのように街づくりに関わっていくといいかを、建築の設計を含めて、30年後までを計画してください。その際、「循環型未来都市」というキーワードを念頭におくこと。

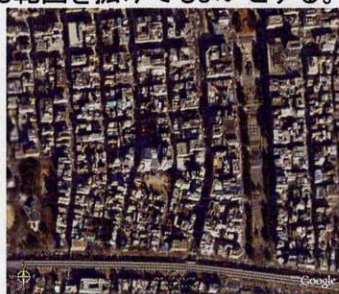
チーム構成:

4～5人を自分たちで構成して、それを1チームとします。

ディスカッションやプレゼンテーションなどで力を合わせることを。

課題地:

①名古屋市栄～大須の都心地区、②名古屋市伏見～堀川の広小路地区、③名古屋市大須～上前津の下町地区、④名古屋市築地～港のウォーターフロント地区のいずれかのうち、右の航空写真の範囲としますが、提案内容に応じていくらかでも範囲を拡げてよいとする。



①都心地区



②広小路地区



③下町地区



④ウォーターフロント地区

最終提出物:

- ① 最終プレゼンテーション用のA3(10ページ以内)の提案書 ×1点
- ② 最終プレゼンテーション用の①のPDFを焼いたCD-ROM ×1点
- ③ コンセプトを伝えるモデル、もしくは、2分以内のショートムービー ×1点

課題地に関する分析、提案のコンセプト・平面図・立面図・断面図・CGなどを含めることとする。

用紙の縦横は自由。画像編集ソフトでレタッチしたCGパースやダイアグラムを多用することを推奨する。

中間チェック:

下記の日程で随時行います。メールでもメッセージでも受け付けます。

課題日程:

○5月25日(木) 課題の説明

13:00～14:30 課題の出題、質疑応答

○5月25日(木)～5月28日(日) 課題地の決定→課題地の分析→ディスカッションとスタディ

チーム毎にディスカッションとスタディを進め、必要に応じて出題者へチェックに来ること。24hours。

北川研究室に不在時はメールやメッセージで質問してもよい。この期間に積極的に質問すること。

○5月29日(月)～6月3日(土) 各チームのスタディ内容のクオリティを上げる

オーストリアのザルツブルグの大学へレクチャーに出張していますので、その間は、5月28日(日)までに受けたアドバイスをもとに、各チームで、スタディ内容のクオリティを上げることに専念する。

○6月4日(日)～6月7日(木) 各チームで考えたことを最終提出物に盛り込む

チーム毎にプレゼンテーションを進め、必要に応じて出題者へチェックに来ること。24hours。

北川研究室に不在時はメールやメッセージで質問してもよい。この期間に積極的に質問すること。

○6月8日(木) 13時までに北川研究室へ提出

○6月12日(月) 講評会

10:30～12:00 & 13:00～14:30 プロジェクタで②を投影してチーム毎に講評会

備考:

昨年開催された前述の国際会議の期間中、名古屋市内にて菊竹清訓氏、内藤廣氏、古谷誠章氏、原田鎮郎氏、長谷川逸子氏、張永和氏他、国内外の著名な建築家による、循環型未来都市についての講演会などがありました。「循環型未来都市—サステナブルシティ」に内容が全て掲載されていますので、課題中も課題後も含めて、参考にするといいいでしょう。

課題を進める際は、いつでも構いませんので、24号館102・103・104号室の北川啓介研究室まで来室、もしくは、メール等で連絡(kitagawa@nitech.ac.jp or Tel: 052-735-5520 or MSNメッセージ: kitagawa@nitech.ac.jp)してください。